

農福連携推進 東北ブロックセミナー

農福連携は、障害者等の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障害者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現していく取組です。

政府は、農福連携の全国的な機運醸成を図り、強力に推進していくため、令和元年4月に、内閣官房長官を議長とした「農福連携等推進会議」を設置し、今後の取組の方向性を「農福連携等推進ビジョン」として策定しました。

そして、この「農福連携等推進ビジョン」では、令和6年度末までに、農福連携に取り組む主体を、新たに3,000創出する、との目標が掲げられたところです。

東北農政局は、この目標の達成と、東北地域における持続的な農福連携の取組の更なる定着を図るため、以下のとおり農福連携推進東北ブロックセミナーを開催します。

日時

令和5年2月20日(月)13:30~16:00

会場

オンライン(Zoom)開催

参加費
無料

プログラム

※お申し込みは裏面参加申込書をご利用ください。

1 基調講演

公立大学法人 岩手県立大学 社会福祉学部

教授 宮城 好郎

「農福連携:社会福祉法人の公益的な取り組みの視点から」

平成23年頃から岩手県花巻市での「農村版地域包括ケアシステム」構築に携わり、大学と地域が連携した実践を重ねています。その過程で地域の高齢者の多くが元農家であることから、農業を中心とした福祉との交流による地域づくりに注目し、地域の耕作放棄地を福祉農園として整備したり、現地でのワークショップを通じた6次産業化に取り組んでいます。



(野菜加工施設内での作業:誠友会)

2 施策紹介

東北厚生局、宮城労働局、東北農政局

3 取組事例発表

①社会福祉法人 誠友会 (青森県おいらせ町)

②非営利型一般社団法人 かたつむり (岩手県大船渡市)

4 意見交換会

「やってみよう農福連携・・・(仮題)」

コーディネーター:公立大学法人 岩手県立大学 社会福祉学部

教授 宮城 好郎

パネリスト:社会福祉法人 誠友会

非営利型一般社団法人 かたつむり



(ハウス作業の様子:かたつむり)

※内容は変更する場合がございます。

共催:東北厚生局、宮城労働局、東北農政局

「農福連携推進東北ブロックセミナー」参加申込書

下記の参加申込書に必要事項を記入のうえ、電子メールまたはFaxでお送りください。

後日、電子メールで参加に必要なURLを送信します。

参加は無料です。

申込み締切りは「令和5年2月15日17時00分」です。

※なお定員（70名）になり次第、締め切らせていただきます。

《申込先、お問い合わせ先》

- ・電子メール：noufuku_net@maff.go.jp
- ・Fax：022-216-4287
- ・電話：022-263-1111（内線4125、4185）
- ・東北農政局 農村振興部 農村計画課 井上、岡根、渡辺
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1

【参加申込書】

※印の部分は必ず記入してください。

ふりがな		
※氏名又は団体名		
団体の 場合	代表者名	
	※担当者名	
住所		
※電話番号		
FAX番号		
※電子メールアドレス		

*皆様から頂いた個人情報は、ブロックセミナーの運営の目的以外には使用いたしません。